

**組織名** 日本赤十字社大阪府支部

**組織情報**

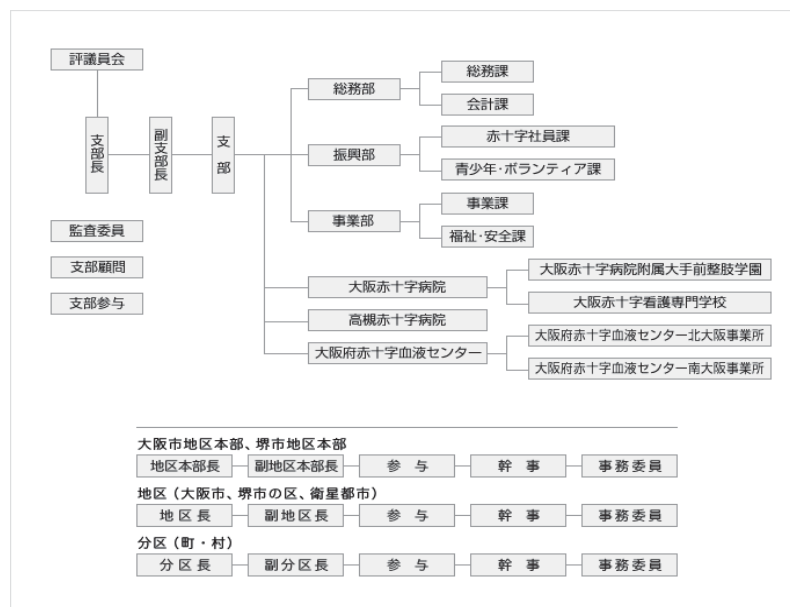
所在地 (代表組織)	大阪市中央区大手前2-1-7	
サイトアドレス	<a href="http://www.osaka.jrc.or.jp/top.php">http://www.osaka.jrc.or.jp/top.php</a>	
連絡先	電話	06-6943-0743(直通)
	FAX	06-6941-2038

**組織概要**

管轄・組織体制など

- ・日本赤十字社は、世界186カ国にある赤十字・赤新月社のひとつとして、日本赤十字社法という法律に基づいて設立された法人です。
- ・1877年(明治10年)に創立された博愛社を前身とし、日本政府がジュネーブ条約に加入したことに伴い、1887年(明治20年)に日本赤十字社と改称しました。
- ・東京に本社をおき、全国47都道府県にある支部、病・産院、血液センター、社会福祉施設などを拠点に、国内外の災害救護、医療、血液、社会福祉などの事業、救急法の普及、青少年赤十字、ボランティア活動など、幅広い分野で活動しています。
- ・こうした活動は、毎年一定の資金を提供して下さる社員や、様々な活動を展開するボランティアによって支えられています。
- ・日本赤十字社大阪府支部は、1887年(明治20年)に設置されました。
- ・各支部管内には地区と分区があり、地区は区と衛星都市、また分区は町村にあります。なお大阪市など全国の政令市には地区を統轄する地区本部があります。
- ・各府県にある赤十字病院、血液センターなどの施設は、一部本社直轄のものを除いてすべて支部に所属しています。

日本赤十字社大阪府支部組織図



**所掌事務・担当業務**

- ・日本赤十字社は、災害対策基本法に定める指定公共機関として指定され、現在においては日赤大阪府支部の災害救護活動として、(1)医療救護(2)救援物資(毛布、緊急セット、安眠セット)の備蓄と配分(3)血液製剤の供給(4)義援金の受付と配分、(5)その他災害救護に必要な業務をおこなっています。
- ・災害時において被災者に対する一刻も早い医療救護が必要とされる場合には、大阪赤十字病院15個班、高槻赤十字病院5個班の救護班を順次派遣し、救護活動を行います。この救護班は、原則として医師を班長とする6人を1個班として編成し、医薬品や医療資機材のみならず、食料、衣類、寝具等も持参し、自己完結型の医療救護活動を展開します。同時に避難所等へのこころのケアを含んだ巡回による医療救護をおこないます。
- ・大阪赤十字病院においては「災害拠点病院」(地域災害医療センター)、高槻赤十字病院においては「災害医療協力病院」に指定されています。



緊急セット(ラジオなど24品目)



安眠セット(マット・アイマスクなど8品目)

**組織名** 日本赤十字社大阪府支部

防災に関する取組など

**dERU(国内型緊急対応ユニット)****■dERU(ディー・イー・アールユー)とは**

- ・dERU(domestic Emergency Response Unit)とは、国内における大規模災害等で医療救護活動を行うことを想定した緊急仮設診療所用の資機材と要員のことをいいます。
- ・日本赤十字社大阪府支部では、大規模災害発生後、一刻も早く被災地における診療を開始することを目的として、仮設診療所用資機材の展開や取扱いについて要員に訓練しています。

**■dERUの基本構成人員**

医師2名、看護師長2名、看護師4名、薬剤師1名、助産師1名、主事4名 合計14名

**■主な資機材**

トラック、コンテナ、フレームテント、ベッド、診療用ライト、仮設トイレ等

**■対応能力**

同ユニットは、10数人の職員で約1時間で立ち上げ、装備された医療資材により1日150人程度の軽症・中等症程度の傷病者に対して約3日間の治療が可能となっています。

**■dERUの稼働実績**

- ・平成16年10月に発生した新潟県中越大地震で小千谷小学校等にて発災翌日から約5週間の活動を行いました。
- ・平成19年7月に発生した新潟県中越沖地震では西山地区等にて発災当日から2週間の活動を行いました。

**■大阪でのdERU配備年月日及び稼働実績**

- ・日本赤十字社では平成16年度から年次計画に基づくdERUの配備を開始しており、平成21年7月15日 大阪赤十字病院に配備されました。
- ・平成23年3月11日に発生した東日本大震災では宮城県庁前にて発災翌日から約3週間の活動を行いました。